	平成23年度							
10 D	卒業研究			+0 1/ #4 =	機械電子工学科			
科目名	Graduation Research			担当教員	全教員			
学 年		学期	<u>通年</u>	科目番号	07434	単位数	6	
分 野		授業形式	 実験	履修条件	0.101		0	
/J ±1					7計画 遂行	,,	知識を総合	
	1. 研究テーマを主体的に探求することを通じて、研究の計画、遂行、検討を行い、知識を総合して問題を解決する力(「モノづくり」に応用する力)を身に着ける.							
学習目標	2. 学内での研究発表・討論を通じて、文章と口頭によるプレゼンテーションの力を身につけ							
	2. 子内での明九元次 前輪を通じて、大事と自頭によるフレビン / ションの/7を分につける。							
進め方	担当教員の指導のもとに、下記の項目を達成すること.							
	卒業研究テーマを選択し、その研究の計画立案から遂行、まとめまでの一連のプロセスを学生主体							
	で実施する。							
	計画発表、中間発表、卒業研究発表を行う.							
	各発表用前刷りを作成する。							
	卒業研究論文を作成する。							
		<u>                                      </u>	<b>数</b> )		合格	判定水準		
学習内容	0. ガイダン		<i>&gt;</i>	(1)研究ラ			で理解し、解	
		1. 指導教員と相談の上, テーマを決定			(1)研究テーマの背景と目的について理解し、解 説することができる.			
	2. 文献調査, 資料の収集				(2)研究遂行に関して指導教員と相談の上、計画			
	3. 実験計画や、研究計画の作成				を立てることができる.			
	4. 計画発表会				(3) 中間発表会において、資料をもとに発表でき			
	5. 研究の遂行				る.			
	・実験装置の作成				(4)研究の実施結果を、卒業論文・発表用前刷りとしてまとめることができる。 (5)卒業研究審査会において、背景、目的、経緯、結果を口頭で発表でき、質問に答えることができる。			
	<ul><li>・シミュレーションの実行</li></ul>							
	<ul><li>・データの計》</li></ul>							
	・その他							
	7. 中間発表会							
	8. 研究結果							
	9. 卒業研究語							
	10. 卒業研究							
	11. 卒業研究							
評価方法	評定は、日常の取り組み、論文、中間発表会および卒業研究発表会の審査結果に基づいて決定す							
	る. 下欄の関連するプログラムの学習・教育目標に則した審査基準を用いて,以下の内訳で採点を							
	行う.							
	・中間発表会							
	(1) 中間発表を聴講するプログラムの教員による採点(10点)							
	・卒業論文および卒業研究発表会							
	(1) 指導教員による1年間の総合的な評価による採点(60点),							
	(2) 卒業研究発表を聴講する指導教員団による採点(30点(平均))							
学習・教 育目標と の関係	プログラム指定科目							
	◎C(2)卒業研究で、簡単な課題を実現する具体的な手段や手法を例示することができ、							
	それを具現化することができる.							
	$\bigcirc$ D $(1)$ 学習成果を日本語の文章により論理的に記述し、報告書にまとめることができる.							
のぼが	◎D (2) 学習)	◎D(2)学習成果をもとに発表資料を作成し、日本語による口頭発表と質疑応答を行うことがで						
	きる.							
関連科目	全科目							
教 材	各教員の指示に	よる						
備考	各自、研究記録を作成し、指導教員のチェックを受ける.							
		- 11 /2/2 O / 1H-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					